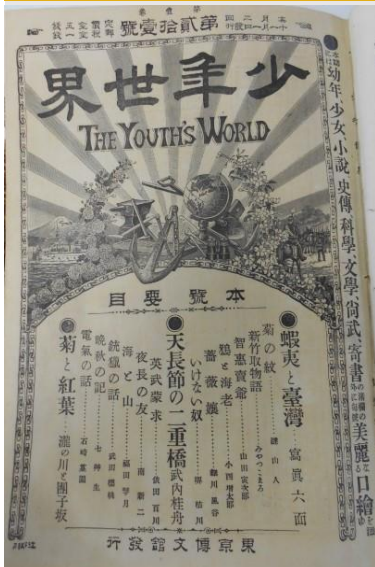


# 三康図書館における 利用の多い雑誌資料

(2014年～2019年の5年間の複写枚数から)



## 少年世界 (博文館) 3271枚



「少年世界」博文館発行  
1895(明治28)年1月創刊  
編集長：巖谷小波(1870-1933)

少年向け総合雑誌で『幼年雑誌』『日本之少年』『学生筆戦場』などを統合して創刊された。内容は論説・小説・史伝・科学・遊戯・文学・学校案内と多岐にわたり、読者層も多様であった。主筆の小波が、毎号の巻頭にお伽話を載せたほか、小波が属した硯友社のメンバーが多数執筆している。

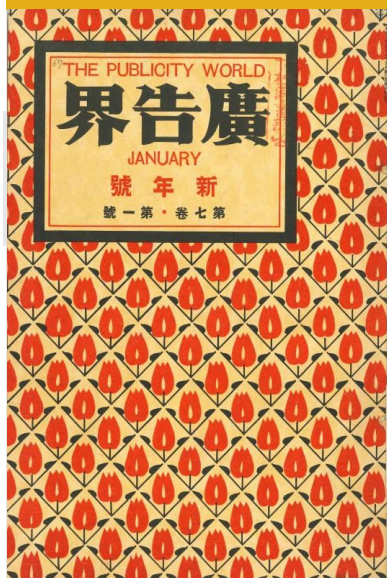
## 少年少女譚海 (博文館) 2795枚



「少年少女譚海」博文館発行  
1920(大正9)年1月創刊  
後の雑誌名：「譚海」  
編集主任：荒井弘城(本名 南部新一)(1894-1986)

従来の創作物語の少年少女向け雑誌と異なり、歴史上の人物や講談の英雄豪傑伝を少年少女向けに書いた構成で人気を博した。漫画や投稿欄などの記事も掲載するようになり、やがては軍記物、科学読み物に特化していった。

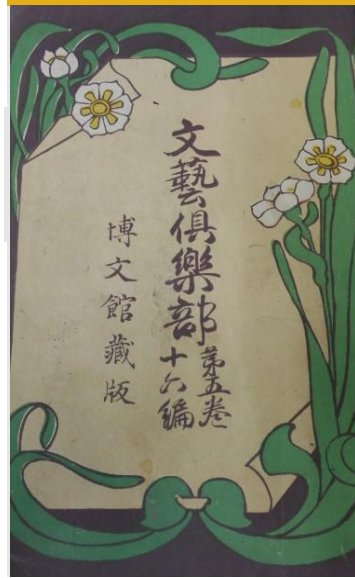
## 広告界 (広告界社) 2771枚



「広告界」誠文堂刊行  
雑誌「広告と陳列」を改題して創刊

大正から昭和にかけて発行された日本における広告関連雑誌の草分け的存在。商業美術や広告デザインを知ることができる業界誌である。広告業界の話題・動向や、広告技術・広告実例が紹介されており、研究者・企業広告担当者による評論などが掲載されている。

## 文芸倶楽部 (博文館) 2251枚



「文芸倶楽部」博文館発行  
1895(明治28)年1月創刊

既刊の『明治文庫』『春夏秋冬』『世界文庫』『逸話文庫』『文芸共進会』を統合して発刊された。樋口一葉は「たけくらべ」を一括掲載したことで文名を馳せた。泉鏡花、尾崎紅葉、田山花袋、山田美妙などが執筆し、毎号巻頭には鏗木清方、小林清親、武内桂舟などによる木版口絵や挿絵が掲載された。芸妓・役者・芸人の貴重写真や世相風俗に関する記事も多数収録された。

## 三康図書館が所蔵する雑誌資料の特徴は？

古典籍資料や内容豊富な図書資料も所蔵していますが、戦前の雑誌が特に多く利用されているのが三康図書館の特徴です。雑誌タイトル数は約7,000におよび、すべてOPACで検索できます。明治を代表する出版社である博文館の創業者大橋佐平と息子新太郎により発足された大橋図書館の蔵書を引継いでいることから、博文館が発行した資料も豊富に所蔵しています。他機関と比較しても遜色ない、むしろ多いくらいの所蔵数が自慢です。遠方にお住まいの方からも多く利用されています。ぜひ一度、三康図書館のOPACで検索してみてください。